



展望塔に登って町を眺めてみよう！

MAP:E-2

ニノ宮山展望塔と伊古の里

山頂の塔の上から、小高い丘が重なり合う比企丘陵や、晴れた日には遠く新宿副都心や東京スカイツリーまで見晴れます。ふもとから山頂までの一帯は「伊古の里」と呼ばれ、散策路や郷土料理が自慢の農家レストランなどがあります。春は桜や菜の花、初夏はアジサイ、秋はコスモスがきれいです。



MAP:F-3

枇木を考えた郷土の偉人を偲ぶ。

宮島勘左衛門の碑



MAP:H-4

アカマツを削った包装材「枇木」づくりは、明治～昭和にかけて滑川町の地場産業でした。

観音様にお参りして行こう。

福田馬頭観音



MAP:D-5

老僧が百日祈願を行ったところ、馬頭明王が現れて願いを叶えてくれたという言い伝えのある観音堂。

鬼を踏みつけた四天王像が豪快！

慶徳寺

山門にある四天王像は、持国天、増長天、広目天、多聞天の4体。踏みつけられた鬼の顔がなんとなくユーモラスです。

国の天然記念物を間近に見られる。

エコミュージアムセンター



MAP:F-6

絶滅の危機に瀕していたミヤコタナゴが町内の沼で見つかったことから、その保護と人工繁殖を行っています。

歩きつかれたら、あずまやで休憩。

ポケットパーク



MAP:G-5・G-6

羽尾神社の近くにある休憩施設。お弁当を広げるにもぴったりです。

「滑川町郷土かるた散策マップ」の刊行によせて

滑川町では平成6年に町制施行10周年を迎え、その記念事業の一つに「滑川町郷土かるた」を発行いたしました。

このかるたは、町内の遺跡、文化財、名所、偉人など滑川町として誇れるものを題材に、町内の小、中学校児童生徒の皆さんに作っていただきました。

このたび、46枚のかるたに読まれた場所をマップに示し、そのうち29ヶ所に標柱を立て順次散策する「滑川町郷土かるた散策マップ」を刊行いたしました。

このマップを利用して、町民をはじめ多くの皆さんに散策・ハイキングをしていただき、健康増進と郷土の歴史、文化に理解を深め併せて自然環境の保全に努めていただくことを希望いたします。

平成23年3月

滑川町長 吉田 昇

交通ガイド



電車をご利用の場合

東武東上線森林公園駅下車…池袋駅～急行60分
東武東上線つきのわ駅下車…池袋駅～急行65分
JR上越新幹線熊谷駅下車 …上野駅～約37分
JR高崎線熊谷駅下車 ……上野駅～約60分



お車をご利用の場合

関越自動車道東松山ICから
熊谷方面へ約10分

お問い合わせ

滑川町役場産業振興課

〒355-8585 埼玉県比企郡滑川町大字福田750-1

TEL. 0493-56-2211(代表)

FAX. 0493-56-2448

<http://www.town.namegawa.saitama.jp/>



滑川町ニノ宮山展望塔より

滑川町郷土かるた



あ 雨乞いに 浅間山の 池の水

浅間山の社で池の水をササラで
かき出す雨乞いの神事を行うと、
水が下流れ着く前に雨が降る
と言われています。



く 愚禪和尚 筆と心は 今もなお

愚禪和尚は今から250年前に羽
尾の興長寺の住職を務めました。
高德で名高く、慶徳寺や成安寺
などに揮毫が残されています。



い いつまでも ミヤコタナゴの すめる町

滑川町の沼や川で、国の天然記
念物のミヤコタナゴがいつまで
も生息できるように、環境を守
りましょう。



け 慶徳寺 四天王が おわします

慶徳寺には、町指定文化財の四
天王像があります。玉眼、寄木造
りで鬼を踏みつけた立像。江戸
初期の作といわれています。



う 馬まつり 里のにぎわい 福田観音

福田の馬頭観音は、3月19日が縁日。
昔、馬は農耕や輸送に活躍しました。
縁日には、飼い馬の健康を願って、
引き連れてお参りをしました。



こ コミセンは はずむ会話と 憩いの場

コミセンの愛称で親しまれる町
営の集会施設。昭和54年7月竣
工。レンガ色の巨大な屋根が特
徴で当時は奇抜な建物でした。



え 絵馬にのこる 農村歌舞伎 喜の字屋連

喜の字屋連は、水房出身の石川
寅次郎が、江戸に出て修行。芸名
を坂東又四郎と名乗って、地元
に帰り興した農村歌舞伎の一座。



さ 酒上げて 病い癒えよと 生首八幡

非業の死を遂げた人を祀った八
幡様。首から上の病に御利益があ
ると信仰され、お礼まいりには、
竹筒に、お酒を入れて供えます。



お オトウカさま イッケで祀る 稻荷講

イッケは、先祖からの血縁をもつ
集団。護り神として、多くは稻荷
様を祀ります。オトウカさまは、
お稻荷様を音で読んだものです。



し 四季通じ 緑かがやく 松の町

滑川町は、町内の約3割が森林
で、特に松の木が多く、昭和59
年町制施行の際に町の木に定め
られました。



か 海舟の 幟りはためく 伊古神社

幟り旗は、伊古の氏が江戸の
勝海舟に頼みに行き、三日三晩
墨すりをして書いてもらった大
きなもの。町の文化財に指定。



す 須恵器焼いた 窯跡映る 五厘沼

五輪塔を持つ古刹があり、沼に
映った姿から五厘沼と呼ばれま
した。昭和51年の発掘調査で窯
跡も確認されました。



き 今日より明日へ 時代を流す 市野川

小川町に発して滑川町を潤し、
川島町で荒川に合流する市野川
は、農業用水や治水に役立っ
ています。



せ 泉福寺 郷土のほこり 阿弥陀さま

泉福寺には、国指定重要文化財
の阿弥陀如来像のほか、県指定
文化財の観世音菩薩、勢至菩薩
の3尊が安置されています。



そ 祖母の足 早く治れと 道祖神

道路の悪霊を防いで、行人を守
護する足の神様。町内各地にあ
り、羽尾の糖ケ谷戸にある男女
双体ドウロクジンが有名です。



ぬ 沼水が 支えてくれた 米づくり

町内には、それぞれの谷あいに
沼がつくられ、その数は200を
こえます。この沼水を使って、大
切な米作りが続けられています。



た 高台に 土塁残して 山田城

森林公園南口近くに残る城跡。
来歴は不明ですが、現存する堀・
土塁から戦国時代の出城と考え
られています。



ね 年々の 卒業見守る 楠の大木

明治6年開校の福田小学校は、同
30年に現在地に移転。校庭の楠
は、元気な子供達を見守り続け、
毎年3月には卒業生を見送ります。



ち 町民の 環境守る 浄化センター

滑川・嵐山・小川の3町の下水
を浄化する処理施設。正式には、
市野川上流浄化センターとい
います。



の 農道の 辻に願いの 石仏

町内旧道のみちばたには、馬頭観
音、庚申塔、月待塔などいたる所
に石仏が祀られています。昔の
人々の厚い信仰の現れでしょう。



つ 月輪で 枇木を考案 勘左衛門

江戸時代の末期、竹が荒廃したと
き、月輪在の宮嶋勘左衛門が竹の
皮の代わりに、赤松を幅広く薄く
削った包装材「枇木」を考案。



は 般若経 丈夫に育てと 勢至さま

その昔、月輪大納言兼実公が領
地に勢至菩薩を祀り、大般若心
経600巻を奉納したことから、
勢至堂ができました。



て 天神山 古代を偲ぶ 横穴群

天神山横穴墓群は、県の文化財
に指定されています。20基以上
であると推定されていますが、現
在開口しているのは1基です。



ひ 開けゆく 町を見下ろす 二ノ宮山

二ノ宮山は、標高132メートル
で町内一高い山。この地方の山
岳信仰の中心であり、雨乞いの
山としてもよく知られています。



と としよりの 憩いの場所や 松寿荘（谷津の里）

昭和50年に比企広域市町村圏組
合がお年寄りの休養と憩いを目
的に作った施設。現在は取り壊さ
れ、子供の遊び場として計画中。



ふ ふせぎの儀 鬼も逃げ出す 大わらじ

ふせぎは、大わらじと、ワラをよ
りあわせて作るぶち棒を竹竿につ
るして村境に立て、しめ縄を張っ
て、悪魔や疫病の侵入を防ぐ行事。



な 滑川は 町の歴史を 語る川

昭和29年11月3日、福田村と宮前
村が合併した際、両村の境を流れる
川の名前から滑川村に。昭和59年
合併30周年を記念して滑川町に。



へ 塀こえて 咲くひまわりの 里づくり

咲き誇るヒマワリを通して地域
の人々の交流を図る里づくり運
動。昭和63年に滑中生が始め、収
穫した種子は全国に配られます。



に 錦かざった 山田生まれの 音羽山

江戸時代末期に活躍した力士、音
羽山峰右衛門は下山田の出身。引
退後は、現在の相撲協会理事長を
務め後進の育成に努めました。



ほ 堀跡に 名残をのこす 羽尾城

滑川と市野川に挟まれた東西に
細長い台地にあり、松山城主上
田宗資の家来、山崎若狭守の
居館と言われています。



ま 繭だんご 桑木に飾り 小正月

滑川地方では、1月14日から16
日を小正月という。養蚕が盛んに
なった明治の頃から、桑木に繭玉
団子を飾って豊作を願いました。



ら 欄干に もたれて語る ふれあい橋

役場庁舎とコミセンを結ぶふ
れあい橋は、県のふれあい事業
の補助金を受けて、その名が付
き町民に親しまれています。



み 宮前小 桜が映える 丘の上

4月8日は始業式、入学式。満開
の桜が宮小つ子をあたたく迎え
ます。この一帯は、大谷遺跡と呼
ばれ、古墳群が分布しています。



り 龍神の 伝説伝わる 両頭庵沼

両頭の大蛇の化身で、神通力の
ある娘に雨乞いの願いを叶え
てもらい、村人は感謝して娘を
龍神様として祀りました。



む 武蔵野の 自然が残る 森林公園

明治記念事業の一つで昭和49
年に、国営公園第1号として
開園しました。面積は304ヘク
タールの広大な公園です。



る 瑠璃色の 空に響かす 鼓笛隊

町の芸術の祭典「文化祭」は、毎
年11月に開催。大勢の人々でに
ぎわいます。かつては、子供達に
よる鼓笛隊が花を添えました。



め 目の病い 治してくれた 加田薬師

中尾の慶徳寺にある薬師堂は、
眼病を患った人がお祈りする
と、快方に向かうと伝えられて
います。



れ 練習の 掛け声響く 滑川中

滑中の部活動は、1年を通して積
極的。夏の暑い日、冬の北風の日
も、生徒たちの元気な掛け声が
グラウンドや体育館で響きます。



も 炎えて咲く ツツジは 私の町の花

昭和59年の町制施行を記念して、
町の花にツツジが選定されまし
た。5月頃町内の丘陵地で赤、紫、
白などの美しい花が見られます。



ろ 朗々と 羽尾神社の 勧学祭

勧学祭は小学校に入学する子
どもたちが、学びの道に健やか
に精進できるように神のご加
護を祈願する行事です。



や 山の神 火伏せの神すむ 高根山

高根山は、標高105メートルで町
内3位の山。昔から山岳信仰、雨乞
い信仰、火伏信仰の山として近隣
の人々によって祀られています。



わ 鰐口が 昔を語る 真福寺

鰐口は、叩いて音を出す仏具で
す。豊田秀吉が北条氏を攻めた
とき陣鐘として使った鰐口が
真福寺に保管されています。



ゆ 勇壮に 舞って奉納 ささら獅子

かつては農作物の豊作祈願や
悪病退散で獅子舞を奉納しま
した。現在は月輪地区と福田地
区にその伝統が残っています。



を 尾を曳いて キジが飛び立つ 緑の野

昭和59年の町制施行の際に、町
の鳥がキジに決まりました。雄は
背面の色彩がとても美しく、また
尾は長く多くの黒帯があります。



よ 養蚕と 米で支えた 農家のくらし

かつて滑川町では丘陵地の畑に
桑を植えて蚕を飼い、平坦部の水
田には稲を植え、ほとんどの家が
農業で生計を立てていました。



ん 運動会 滑川音頭の 輪をひろげ

滑川音頭は、昭和54年に町村合
併25周年を記念して作られま
した。町民に親しまれ、運動会
や盆踊りでお馴染みの曲です。